

港内環境の美化に汗

出来潤漁港で清掃活動

森川組

【函館発】(株)森川組(函館、森川基嗣社長)は23日、鹿部町の出来潤漁港で清掃活動を行った。地域貢献活動の一環で、協力会社の職員を含め18人が参加。側溝内の泥上げや除草などを行い、港内の美化を図った。

画。町水産経済課に打診したところ、出来潤漁港の港内にある側溝に泥がたまってきていることを聞き、側溝内の泥上げをするのと同時に、港内の除草および清掃を行うこととした。

同社は本年度、鹿部町内の漁港において函館建管発注の「本別漁港水産流通基盤整備」と、渡島総合振興局水産課発注の「噴火湾周辺出来潤増殖場造成」を施工している。



快適に利用できる環境を整備した。

側溝内の泥上げでは2トンダンプ3台分、港内の除草・清掃活動では4ト平ボディトラック1台分の量を処理。漁業関係者など地元住民らが快適な環境で利用できるよう、3時間ほどかけて港内を清掃した。

備した

快適に利用できる環境を整備した

こうした縁から、町のた